# コロナ禍を乗り越えるために

新型コロナウイルス感染拡大の第3波が広がっています。11月15日に開催した「けんせつ」通信員総会では、出席した通信員の皆さんに「コロナ禍を乗り越えるために」というテーマで記事を書いてもらいました。

## 分会紙等コンクール2020年度受賞紙

2020年度の分会、青年部、主婦の会、シニア友の会等の機関紙の入賞紙が決定しました。「特選紙」は10月22日に、「けんせつ」元編集長髙皇素昭さんと年金者新聞編集長の向井光也さんが選び、「入選紙」は11月15日に行なわれた通信員総会の際、出席者と員の厳正な投票によって決まったものです。

「特選紙」、「入選紙」となったのは以下の34紙になります。

（特選紙）

【分会の部】

★「はなはた」足立支部花畑分会★「奥戸」葛飾支部奥戸分会★「西西」江戸川支部葛西西分会★「はらから」板橋支部丸分会★「北赤通信」北支部北赤羽分会★「むき分会ニュース」練馬支部田柄分会★「たかまつ」練馬支部高松分会★「貫井分会ニュース」練馬支部貫井分会★「大泉東分会ニュース」練馬支部大泉東分会★「新よとたま」練馬支部新豊玉分会★「きたみ」世田谷支部喜多見分会★「中央新聞」杉並支部中央分会★「小平東新聞」小平東村山支部小平東分会★「九道の辻」小平東村山支部南分会★「はなみずき」村山大和支部大和南分会

【青年部の部】

★「ROOKIES」（板橋支部青年部）

【主婦の会の部】

★「女性の会かつしか」葛飾支部女性の会★「のみち」西多摩支部女性の会

【シニア友の会の部】

★「フレッシュの力」西東京支部フレッシュ友の会

（入選紙）

【分会の部】

★「細田高砂」葛飾支部細田高砂分会★「大山」板橋支部大山分会★「北町奉行」板橋支部大谷口北分会★「さくら」豊島支部さくら分会★「みちくさ」練馬支部桜台分会★「桜並木」練馬支部学園分会★「石神ニュース」練馬支部石神井分会★「よんろく」西多摩支部青梅第6分会

【青年部の部】

★「サンマーズ」目黒支部

【主婦の会の部】

★「えぶろん」江東支部★「けやき」練馬支部早宮分会★「菜の花」練馬支部石神井分会★「主婦のちから」町田支部

【シニア友の会の部】

★「あけくれ」渋谷支部

【専門部の部】

★「PAL NEWS」西東京支部PALの会

## 誰が感染してもおかしくない バッシングはやめよう

神田さん

【板橋・建築事務・野崎寿江通信員】新型コロナに感染した人へのバッシングが聞くに堪えません。石を投げられたり、引っ越しを余儀なくされた人もいると聞きます。

恐怖心の裏返しなのかもしれませんが、「もし自分が同じことをされたら…」という想像力を働かせてほしいものです。どんなに気を付けていても誰が感染してもおかしくない中、「コロナより人間が怖い」という状況にはさせたくありません。

GoToキャンペーンは、落ち込む経済への対策だったとしても、拙速だったような気がします。命より経済優先ではなく、まずはウイルスを封じ込めることを考えるべきだったのではないでしょうか。休業補償や医療関係など、収束をはかるためにお金をかけるべきだと思います。

## 生活していくの「やっと」 消費税を減税して

【足立・内装・神田春之通信員】聞くところによると、「GoTo」を延長するそうで、新型コロナに拍車をかけている。3月からは分会執行委員会の会場も閉鎖、4、5月は自粛期間となり、組合員を集めてのイベントは中止せざるえなくなり、今日に至っている。人と人のつながりに重点を置く組合活動は、コロナ禍では制限される。新しく入った組合員さん、若い人とのつながりを持つには、花見の会、BBQ、旅行といったイベントが最も大切な機会なのだが、何もできずにいる。

このままでは組合は何をしているところか、活動内容を知らせることができず、「保険組合」としか思わない組合員がふえるのではないか。コロナ禍でも小規模であれ、人と人のつながりを重視した活動を行なっていかなければと思う。

普通のことが当り前にできるようになればいいなあ。

小生のように、「やっと」生活している人間には他人事です。コロナだけで外出の自粛をしているのではありません。外出すれば「銭」という奴が出ていきます。

ここの処へ来て、寒さと乾燥で世間では第3波とか言うなければよいと思います。

なければよいと思います。

## 印象で思い込まない 無駄に騒がず冷静に行動

寺山さん

【台東・看板・寺山邦裕通信員】先日、久しぶりに銭湯へ行きました。台東区は銭湯が多く残っていて、私の家から自転車で1分以内に限ってみても、5～6軒は頭に浮かびます。

もっと行きたいなあと思いつつ、あれ、いつから行ってなかったのかと考えてみたら、「3月からだ」と気が付きました。そうそうコロナ感染が広がりだしてから行きづらくなったんだと自分でやめていたのです。感染リスクが高いと思い込んでいたのですが、でも、銭湯発のクラスター感染の情報はなかったように思います。考えなおさないといけないのかと思います。

翻って考えるとコロナ感染の思い込みって意外に多いのではと思いました。「コロナ禍を乗り越えるため」にはイメージでの思い込みをやめ、正しい知識を多くの人と共有して無駄に騒がず、冷静に行動しないといけないと思います。コロナを過剰に怖がらずに生活していきましょう。

## GDPは13兆ドルも増 ジェンダー平等を

高橋さん

【小金井国分寺・塗装・高橋勇一通信員】コロナ禍を乗り越えるためには「ジェンダー平等」が必要だと思う。

この5年間、ジェンダー平等の実現に向けた動きは停滞している。新型コロナウイルス感染症のパンデミックで、それを後退させられる恐れがある。コロナ禍で雇用が危険にさらされている女性は、男性の1・8倍に上る。世界の雇用に女性が占める割合は39%だが、今年5月の時点で54%の女性が失業している。同時に育児や高齢者の介護の無給ケアは増加し、その負担は女性にのしかかっている。

ジェンダー平等の後退は女性や社会に限らず、経済・企業にとっても打撃になると明らかにされている。国（企業）が対策を講じなければ、2030年まで世界全体のGDPの伸びは1兆ドル少なくなる可能性があり、これに対して今すぐジェンダー平等の行動を起こせば、GDPは13兆ドル増と予想される。だからこそ「ジェンダー平等の実現」で恩恵を得よう。

## 無軌道な若者見ていると ナイチンゲール無理

街中ではこんな願いの短冊が（都内）

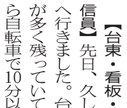
【村山大和・建築事務・高橋久美子通信員】春寒い中、またまた他人事のようにダイヤモンド号のテレビを観ていた姿を思い出す。

なぜ受け入れたのだろう。なぜあの時春節の中国…と思ってみても仕方のないことだろうか。遣唐使の頃から中国から入った疫病で日本の国の寺社仏閣が信仰の対象になり、今につながっている。今のアマビエだろうか。

私たち年配者は本当に気を付けているが、若い方たちの中には、一部全く以前と同じようにふるまっている人たちを見る。自粛の反動なのだろう。私たちでも一瞬羽目を外したい欲望に駆られる。

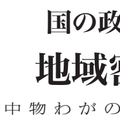
なってはならない産業があるのは理解できる。しかし外国のように首都封鎖でうまく抑えられた国もあれば、スルスルと何もかも中途半端な我が国は産業を回し、来年に迫っているオリンピックに是が非でもつなげたいのは目に見えている。GoTOで潤わせる。

欲望のままに走っている人と本当に真面目に生きてうつってしまった人に何らかのペナルティ等、違いがあっても良いのではないかと心の片隅に渦巻いている自分が時々いる。ナイチンゲールは思うはずもない。


高橋さん

## 国の政策も大切だが 地域密着の対策

銀座三越のライオンにもマスク


大鐘さん

【渋谷・造形制作・大鐘弘資通信員】今年の2月、私が納期に追われた制作物の作業中、クライアントから「コロナでイベントが延期になる」との一報が入りました。その時は納期が延びる安堵感がありましたが、4～5月には消毒・マスク・ソーシャルディスタンスが始まり、組合の会合、行事もすべて中止に。

10カ月たち、世の中の大半はコロナ対策がなされ、組合でもズーム会議を初め、必要に、イベントが関係する業種も、これからさらに厳しい状況が続くと思います。

この時期こそ組合が組合員を助けなければ、組合の意味がないと考え、すすんで訪問行動やイベントの企画を行なっています。拡大行動の時期でもあり、多くの組合員や家族と話しましたが、人それぞれ立場が違い、不満や要求も少しずつ違っています。

社会はコロナ禍の中で、変化と成長が日々行なわれていますが、国の対策で都度犠牲者が発生しています。国の大きな政策は大切ですが、今は市区町村による地域に密着した独自対策、目の届いた救済が必要です。

## 安全第一で平和ボケか マニュアルが必要

関根さん

【葛飾・電工・関根伸正通信員】安全について、日本では100%安全というのが絶対だが、アメリカなんかは8割ぐらいで大丈夫だと思うらしい。残りの2割は自分の身は自分でというヤツなのか。日本人は安全第一主義の中で平和ボケしているのかもしれない。

以前、大手の建設会社A設の仕事をした時のこと。A設の社員が立ち入り禁止の危険箇所に気づかず入っていく作業員を注意するわけでもなく、デジカメで写真を撮っているのを目撃した。その場はとびさんが注意し、何ともなかったが、何がしたいのやらと思った。これからして、安全の意味がわからない。

平和ボケして、交通事故を起こしてから自動車保険に入るようではダメなのである。今後、地震や台風などの自然災害、新たなウイルスが出た時に、どう組合活動するのか早急に決められるマニュアルなどを作ってほしい。

## 方向転換に翻弄されず 終息を待ちたい

岩﨑さん

【品川・大工・岩崎一宇美通信員】2019年11月の中頃に中国・武漢市に発生したウイルスが中国国内からまたたく間に各地区、各所に感染拡大しました。

コビット19と名付けられた新型コロナウイルスです。当時、大型クルーズ船のダイヤモンド・プリンセス号への対策の取り方が後手になったのかが功を奏したのかは後世に委ねるのですが、今言えることは政府機関の意思決定が市井で困っている人々に目が向けられていないと思っています。

錯綜するあらゆる情報を私なりに理解して身を守ることで精一杯です。

大会社から零細中小企業・店舗がこのコロナ禍で未曽有の縮小・倒産の憂き目を見る日が毎日あります。

日常の社会が、このコロナ禍であぶり出され方向転換に翻弄されず冷静な行動を取り、晩節を汚さず終息を待ちたいと思います。

## 給付金受けた息子だが 仕事なく苦しい

坂大さん

【練馬・主婦・坂大和子通信員】先日、息子に持続化給付金の話をしたら、「もうもらったよ」と言われました。「じゃあ、定額給付金と合わせて150万円なら良かったね」と言ったら、「仕事がないのでちょっとのたしだけだよ」との返事にビックリしました。

少しは潤っていたのかと思っていましたが、それほどまでに仕事にも影響を及ぼしているのかと、憎いコロナです。新築の仕事はあるのに、リフォームの仕事がまるでないそうです。建設業界はかりか飲食業の人たちの哀れなこと、同情するばかりです。

300人台が4日続き、全国で1700人も患者が出ていますが、私はGoTOキャンペーンが悪いと思うのです。西村大臣は「経済を良くして共に頑張っていきましょう」と言われますが、あのトラベル、イートが始まってから増え始めたのです。

店をやめて困っている人、職が無くて困っている人、国はもう一度手を差し伸べるべきだと思います。予備費を活用してでも笑顔で生活ができますように考えてほしいと思います。

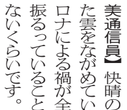
## まず一人一人で予防を

【杉並・建設事務・村上由美通信員】快晴の空に広がった雲をながめていると、今コロナによる禍が全国で猛威を振るっていることが信じられないくらいです。

コロナの影響を乗り越えるには、まず一人一人が感染予防をすることだと思います。

①外出後の手洗い、②マスクの着用、③まめな換気、④バランスの良い食事・睡眠、⑤人でなるべく出かけないなど、心がけることが大切なこと。でも人の接触を減らすことが命を守ることになる今ですが、人々のつながりを絶たれると不安になります。

今できる形で人とつながり合い、いろんな知恵を出し合いながら、仲間、家族と自分のできることを精一杯やれば、いつかは終息を迎える日が来ると信じています。


寺山さん


高橋さん


村上さん

## マスクをはずす時は 運転、食事、在宅

川嶋さん

【西多摩・大工・川嶋隆広通信員】私個人が実践していることは消毒、手洗い、うがい等個人でできることです。もちろんマスクは帯に付けています。マスクを外す時は人で車に乗っている時、食事、家にいる時だけです。

支部の執行委員会もリモートなので、本部もリモート開催でもよかったのではと思います。

最近ではコンビニ等でマスクを付けずに入店する人も多く見られます。私は一人で仕事をしているため、もしコロナに感染してしまったら、家族や周りの人に迷惑がかかってしまいます。何としてもコロナには感染しないように頑張っています。組合活動の前にまず一人一人の自覚の問題ではないでしょうか。

お祭り、イベント等が中止になっている中、総会を行なうのはどうかと思います。しかもこと何日か感染者がふえている中、都内に集まるのは正直いやでした。

## 3密回避、マスク着用 手洗い・うがい徹底

中西さん

【北・左官・中西昭一通信員】中国・武漢で発生した新型コロナウイルスは私たちの生活に大きな影響を与えるものです。2月には横浜港に停泊中のクルーズ船が爆発的な感染拡大にみまわれました。また建設現場でもコロナ感染者が出たら、現場が休みになるということがありました。組合の仲間でも現場が閉鎖に追い込まれ、仕事に大きな支障があったと思います。この時期に持続化給付金（法人200万円、個人100万円）があり、組合の仲間でも給付を受け一時的にも生活が助かったのではないかと思います。

2020年は東京オリンピック開催の年でしたが、3月下旬に1年間の延期は決定しまい、日本全体に「残念」の声が上がりました。東京土建では3密を避けるために多くの行事が中止になりました。

11月に入ると東京都でも1日300人を超す感染者が出ています。今、我々が感染拡大を防ぐには、3密を避けること、マスクの着用、手洗い、うがいがかかせません。一人一人が感染しないように心がけましょう。

## うつさない、うつされない 自覚と決心が必要

本多さん

【文京・電工・本多健一通信員】コロナ発生問題に関しては、1年前は想像の及ばなかった出来事が

この1年、いや半年間で走馬燈のように駆け巡った印象です。そして世界的に不安と混乱の始まりが。

対策において我が国では、国と自治体が対立。経済活動維持と医療機関への負担の板挟み。まるでアクセルとブレーキのせめぎ合い。この矛盾はどうするべきなのか。私にはわかりません。

私の仕事に目を向けると、電工で野丁場でなく主に個人家庭が対象なので、確かに減りました。そんな中ありがたかったのは、法人持続化給付金が認められたことです。会社の財政面では十分な金額でした。この状態がいつまで続くのか誰も分からない中、決してコロナなれしないことが重要で、対策としてはワクチン開発で万人への接種環境が整う状態ですが、国に求めても時間が必要です。

実践することは、マスク、手洗い、アルコール消毒、ソーシャルディスタンスを徹底すること。今はそれしか思い浮かびません。自分自身が人にうつさない、うつされない自覚と決心が必要です。つくづく思うのは、1年前のあの安らぎを返してほしいです。

### 詰将棋の解答

▲1三歩成△同玉▲2五桂△1二玉▲3二飛成△同角▲1三金△2一玉▲3三桂不成まで9手詰。